

地域の食文化や景観魅力で外国人を誘客

2016年度に創設 全国42地域認定、コロナ禍を経て再始動

農水省「セイバージャパン」



八女伝統本玉露は日本茶として初めて地産地消(GI)保護制度を受けるなど、高い評価を得ている



富士山麓・伊豆半島地域の食の「ワサビ」。「各産」水わさびの伝統的な栽培方法は世界農業遺産に認定されている

地域特有の食文化や景観の魅力でインバウンドの誘客を目指す。セイバーは英語で「味、漁村滞在型旅行」を推進する。関市・平泉町(岩手県)産物の「セイバー」同音は「日本食、食文化」を展覧。

「農泊」食文化海外発信の本場である農山漁村(農泊)事業。新型コロナウイルスの影響で停滞を余儀なくされたが、収束に物、食品の増大につなげ、地域の食文化にも触れたい海外との行き来が活発な好循環を構築し、16年度には「セイバー」が重要」と位置付け、16年度には

して、特に、農泊(農山十勝地域(北海道)、一関市・平泉町(岩手県)、鶴岡市(山形県)、下呂市(岐阜県)、市馬瀬地域(岐阜県)にシブヤ地域(徳島県)の5地域が初認定された。

例えば、鶴岡市(実行組織は鶴岡食文化創造都市推進協議会)は、50種類以上の生きた文化財「在来作物」や、出羽三山に伝わる精進料理と精神文化を体感し、宿坊、農家・漁家民宿、温泉などで外国人旅行者が長期滞在できる周遊ルートを提供している。

昨年10月には、静岡県富士山麓・伊豆半島地域(実行組織は富士山麓・伊豆半島食の魅力推進協議会)と、福岡県八女市(同F.M.A.)の2地域が新たに認定され、これで認定地域は42となった。

富士山麓の食は水わさびやわさび、八女は八女茶や手作りこんにゃくなど。

日本の食文化に興味を示す外国人旅行者は多く、訪日目的の一つとなっている。セイバー事業は地域の魅力を伝える事業といえるが、認定された地域だけでは誘客に結びつかなかったのが見えにくい。同省は具体的な成果を示している。

「SAVOR JAPAN」認定地域 (H28～R5年度)

①北海道 網走市 (鮭料理)	⑭長野県 白馬村 (そば料理)	⑳静岡県 浜松・浜名湖地域 (うなぎ)	⑳岡山県 津山市 (牛肉料理)
②北海道 十勝地域 (チーズ)	⑮長野県 山ノ内町 (りんご、そば)	㉑愛知県 田原市 (あさり料理)	㉑広島県 尾道市 (法楽焼き)
③青森県 十和田市 (バラ焼き)	⑯長野県 小諸市 (おにかけそば)	㉒愛知県 南知多町 (鯛料理)	㉒広島県 呉市音戸地域 (牡蠣料理)
④岩手県 一関市・平泉町 (もち料理)	⑰長野県 佐久地域 (鯉料理)	㉓三重県 大紀町 (松阪牛のすき焼き)	㉓徳島県 にし阿波地域 (そば米雑炊)
⑤宮城県 石巻地域 (ほや雑煮)	⑱長野県 伊那市 (そば、昆虫食)	㉔京都府 京都府北部地域 (丹後ばら寿司)	㉔香川県 さぬき地域 (さぬきうどん)
⑥秋田県 大館地域 (きりたんぼ)	⑲岐阜県 下呂市馬瀬地域 (鮎)	㉕京都府 森の京都地域 (かしのすき焼き)	㉕愛媛県 八幡浜市 (柑橘とさつま汁)
⑦山形県 鶴岡市 (精進料理)	㉚静岡県 富士山麓・伊豆半島 地域(わさび)	㉖京都府 京都山城地域 (宇治茶)	㉖福岡県 八女市 (八女茶)
⑧福島県 会津若松市 (こづゆ)	㉛静岡県 大井川地域 (日本茶)		㉖長崎県 島原半島地域 (手延べそうめん)
⑨栃木県 大田原市 (しもつかれ)			㉗熊本県 阿蘇市 (あか牛・高菜漬)
⑩埼玉県 秩父地域 (ずりあげうどん)			㉗大分県 国東半島地域 (だんご汁)
⑪新潟県 十日町市 (へぎそば)		㉘和歌山県 紀の川市 (フルーツ料理)	㉗宮崎県 高千穂郷・椎葉山 地域(神楽料理)
⑫石川県 小松市 (報恩講料理)		㉙鳥取県・兵庫県 因幡・但馬地域 (牛すすぎ鍋)	
⑬福井県 小浜市 (へしこ)		㉚島根県 益田市 (中世の饗応料理)	